

• 0 1 2 3 4 5 6 7 8
• 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 JAPAN
• 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8

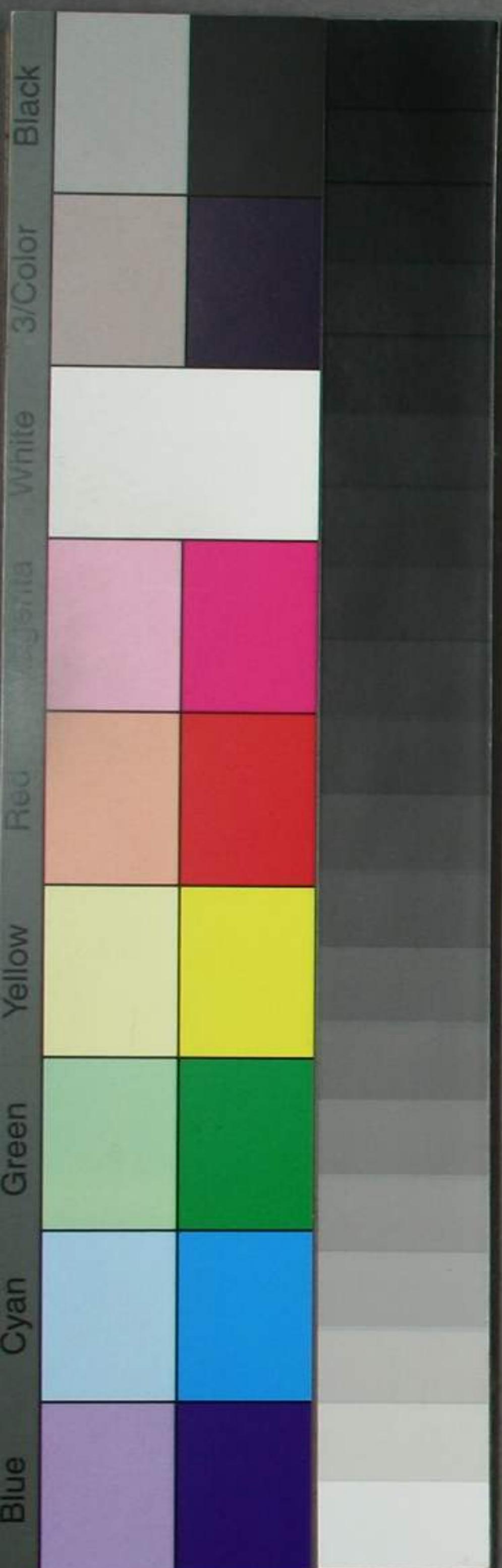
13
3263
6

日本水經考

六

太尾

大福新長有教



3263
6

日本水代益

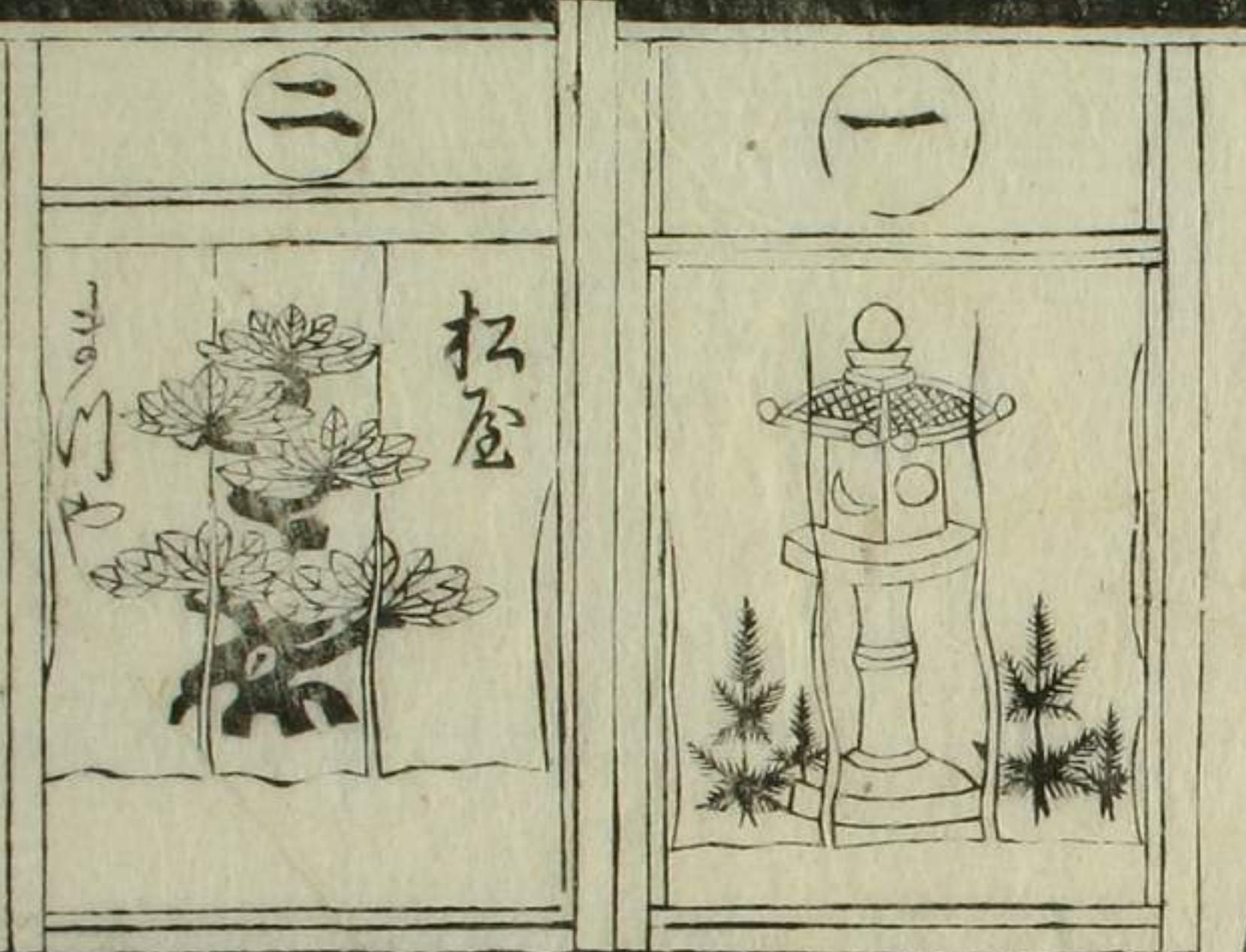
同緑



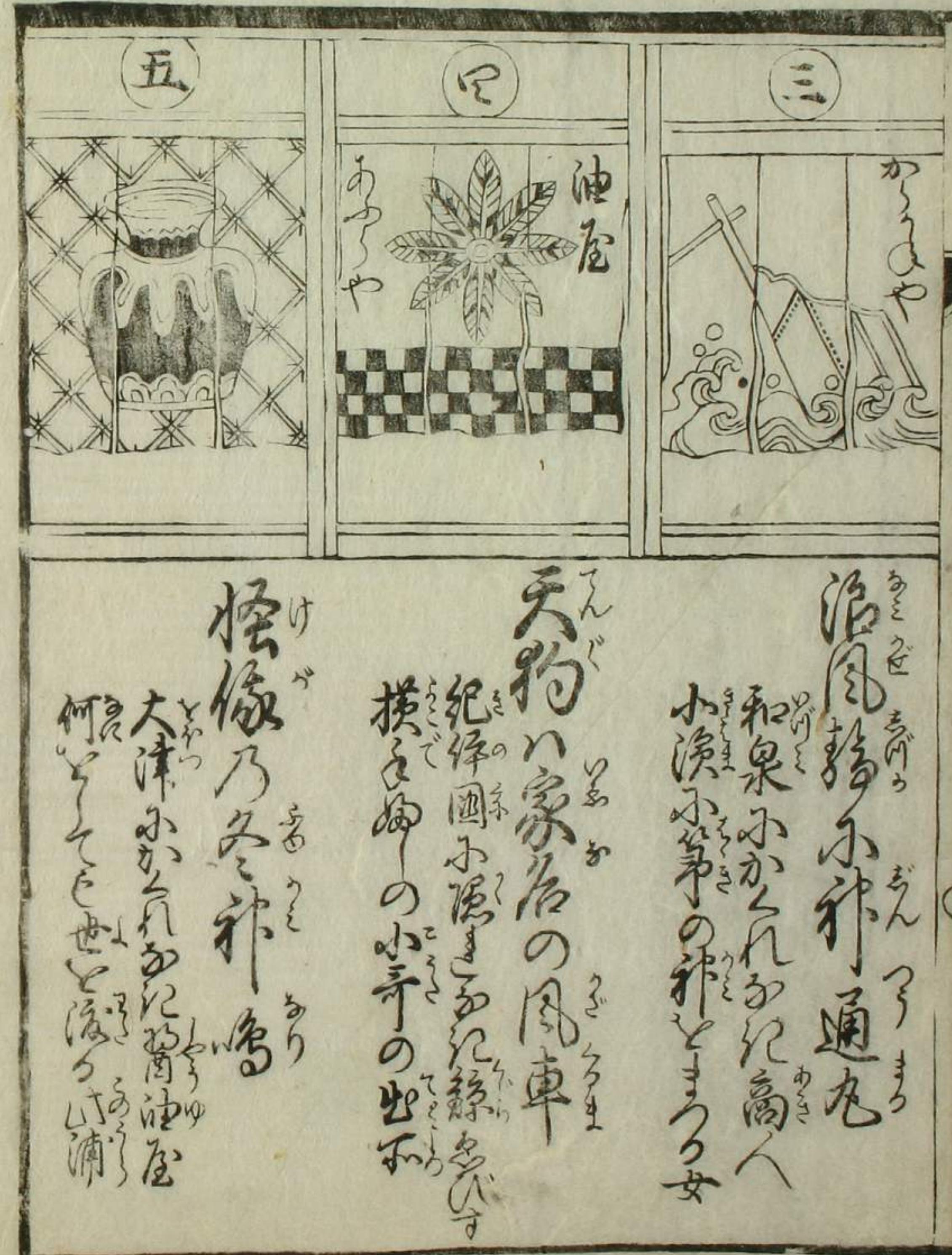
大豆一粒乃より雲

大和小かくねに木綿屋
備絹乃書玉り

世を歌乃入れ小仕合
あんと
後赤の櫻とあら高



よめ一ノ月の
みわ





其へへ入れぬ公



もとよりお方のまどかにせよ。おまわせはおどりをうながす
めぐらしがとよ金井のれん。おれうてがつよけれいのゆくわ
の用事とわざとひきこもる。そとのぞくお入るおもかげし
ま、あらえどとまづられぬ事とみうど。もののみのぞれとおどさず
やうりあきよのすゝ商人のもあがゆうくそむけの世界をば。
あはえぞざしきあく病のあひ。もさびのとひあづきをあらわす
わじふのさうがまびごれひよわひとあひうじ。うれしのよけれま
たれうきめのとく。うつらやさびりうめくのれんのとく。うめく
うめよとく。あまのれんをわせひまうとめれのれんかひうとく
みやうとく。森はうとくもうべとくをうどわくとくをうじ。うめく
のみじひ、おまきりで。おまのをのとくふうとく。おまくとく
のとくまもひとく。おまのをのとくふうとく。おまくとく
がおひとく。おまのをのとくふうとく。おまくとく
がおひとく。おまのをのとくふうとく。おまくとく
がおひとく。おまのをのとくふうとく。おまくとく
がおひとく。おまのをのとくふうとく。おまくとく





